

お知らせします

町の

(平成19年度決算)

の財政状況

決算の概況（一般会計）

平成19年度一般会計決算は、歳入51億9,874万9千円（前年度比4.3%減）、歳出50億3,479万9千円（前年度比6.2%減）となりました。歳入歳出差引額は1億6,395万円で、翌年度に繰り越すべき財源4,343万5千円を差し引いた実質収支額は1億2,051万5千円となりました。

歳入の主な内訳は、町税が税源移譲による税制改正に伴う個人町民税の増やマンション新築に伴う固定資産税の増加等により8.5%の増、町税に次ぐ大きな財源となっている地方交付税は、新型交付税の導入などの制度改正に伴い14.0%の増となりました。

国庫支出金は児童手当拡充やまちづくり交付金等により26.3%増、県支出金は県税取扱費および選挙費委託金等により29.2%増となりましたが、町債は住民税減税補てん債の減少等により10.6%減となりました。

一方、歳出の主な内訳を目的別に見ると、総務費が退職手当組合負担金の増や水道事業への繰出等により9.1%増となりました。民生費は児童クラブ開設や児童手当支給事業の増などがあるものの保育園関係人件費が教育費へ科目移動したなどにより10.5%の減、また、科目移動および学校給食センター事業特別会計の統合に伴い教育費は30.5%の増となりました。

土木費は、酒々井インターチェンジアクセス道路関連事業および中川流域防災事業の増加により2.8%増、商工費は平成18年度のちびっこ天国基金創設の影響で82.9%の減となりました。

問い合わせ 財政課財政班 ☎(内)234

※水道事業会計に関する問い合わせは、上下水道課水道事業班 ☎(496)7725

健全化判断比率と資金不足比率について

地方公共団体において、財政状況が悪化している中で、平成19年に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が公布され、一般会計などの普通会計中心であった財政分析が、特別会計、公営企業および一部事務組合などを含んで財政分析を行い、健全化に努めるようになりました。

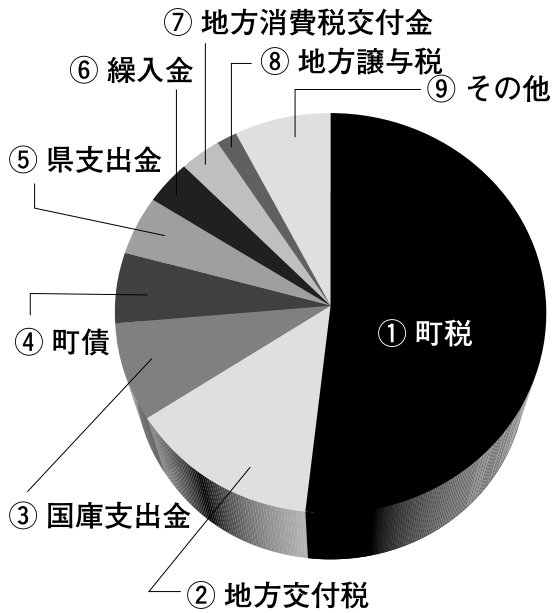
町の指標は下記のとおり、早期健全化基準を上回っており、健全状態であるといえます。

健全化判断比率 (%)				資金不足比率 ⑤ (%)		
区分	町の健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準	区分	町の資金不足比率	早期健全化基準
実質赤字比率 ①	—※	15.0	20.0	下水道事業	—※	20.0
連結実質赤字比率②	—※	20.0	40.0	水道事業	—※	20.0
実質公債費比率 ③	11.0	25.0	35.0			
将来負担比率 ④	39.5	350.0				

※収支が黒字のため、赤字比率が算定されません

- ①実質赤字比率 普通会計を対象とした実質赤字を比率化したもの。
- ②連結実質赤字比率 全会計を対象とした実質赤字を比率化したもの。
- ③実質公債費比率 町が負担する公債費（公営企業や一部事務組合を含む）を比率化したもの。
- ④将来負担比率 町が将来負担する実質的な負債（借入金残高や負債等）を比率化したもの。
- ⑤資金不足比率 公営企業の資金不足を比率化したもの。

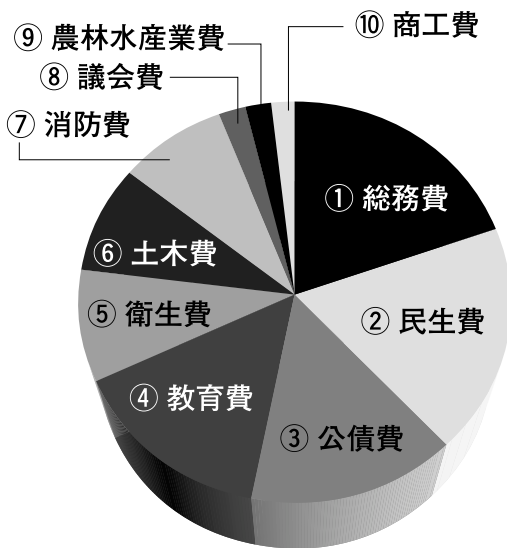
一般会計【歳入】



		構成比	対前年度比
歳入総額	51億9,874万9千円	100.0%	0.8%
① 町税	26億9,513万1千円	51.8%	8.5%
② 地方交付税	7億2,455万4千円	13.9%	14.0%
③ 国庫支出金	4億1,102万1千円	7.9%	26.3%
④ 町債	2億9,530万0千円	5.7%	△10.6%
⑤ 県支出金	2億4,759万0千円	4.8%	29.2%
⑥ 繰入金	1億8,436万5千円	3.6%	△34.1%
⑦ 地方消費税交付金	1億6,692万2千円	3.2%	△0.7%
⑧ 地方譲与税	8,322万0千円	1.6%	△64.7%
⑨ その他	3億9,064万6千円	7.5%	△50.0%

※ 注) 「⑨その他」には、平成18年度にちびっこ天国譲り受けに伴う千葉県からの負担金(4億958万5千円)が含まれるため、対前年度比が大きく減少しています。

一般会計【目的別歳出】



		構成比	対前年度比
目的別歳出総額	50億3,479万9千円	100.0%	△6.2%
① 総務費	9億8,895万8千円	19.6%	9.1%
② 民生費	9億2,399万7千円	18.4%	△10.5%
③ 公債費	7億6,095万1千円	15.1%	△1.1%
④ 教育費	7億4,958万0千円	14.9%	30.5%
⑤ 衛生費	4億5,398万1千円	9.0%	△7.1%
⑥ 土木費	4億3,652万5千円	8.7%	2.8%
⑦ 消防費	4億2,247万3千円	8.4%	3.8%
⑧ 議会費	1億 580万8千円	2.1%	△7.0%
⑨ 農林水産業費	1億 185万3千円	2.0%	△14.9%
⑩ 商工費	9,067万3千円	1.8%	△82.9%

※ 注) 「⑩商工費」には、平成18年度のちびっこ天国基金創設による積立金(4億958万5千円)の影響により、前年度比が大きく減少しています。

特別会計

区分	歳入	歳出
国民健康保険	19億2,495万7千円	19億1,532万1千円
下水道事業	3億7,743万8千円	3億7,414万0千円
老人保健	10億3,070万1千円	10億 344万1千円
介護保険	7億9,649万6千円	7億6,074万6千円

水道事業会計

収益的収入	4億9,297万9千円 4億6,967万5千円(税抜額)	収益的支出	4億1,831万0千円 3億9,631万5千円(税抜額)
資本的収入	1億1,231万4千円	資本的支出	1億8,093万2千円

※(税抜)収入額と(税抜)支出額の差7,336万円は純利益です。
※収入額と支出額の差額は内部留保資金等で補てんされます。